

iSUC (アイザック：IBM System Users Conference) は、

3日間で集中的にスキルアップを図り、人脈を広げることができる、
IBMシステム・ユーザーのための研鑽・交流会です



Hot! Step! Jump!

～飛び込もう！熱き交流の輪へ～

第24回

iSUC 別府大会

2013年11月13日(水)～15日(金)

開催地：大分県別府市

メイン会場 別府国際コンベンションセンター (B-Con Plaza)

サブ会場 ニューライフプラザ

[開催目的] IT研鑽、人材育成、参加者交流、地域交流を通しての社会貢献

[大会テーマ] Hot! Step! Jump! ～飛び込もう！熱き交流の輪へ～

[申込期間] 2013年8月19日(月)9:00～10月28日(月)18:00

[参加費(税込)] ※大会参加費、1日目夕食、2・3日目昼食代を含みます。

会員：60,000円 [特別割引] 50,000円 (9月27日(金)18:00までのお申し込み分)

非会員：65,000円

主催：全国IBMユーザー研究会連合会 支援：日本アイ・ビー・エム株式会社 協力：九州IBMユーザー研究会



別府国際コンベンションセンター



くわしい案内とお申し込みは：iSUC ホームページから

<http://www.uken.or.jp/isuc/>

iSUC

検索

内容は随時更新されます。ブックマークに入れて、定期的にチェックしましょう

iSUC ホームページへは、右の
QRコードからアクセスできます。



◎実行委員長 挨拶

3日間で多くの方に会い、語らい、仲間を作り、お互いに成長する。
iSUCは、そんな“交流の輪”ができるカンファレンスです

第24回 iSUC 別府大会 実行委員長

梅木 健行

広友ホールディングス株式会社 [関東研]



今年のiSUCは、大分県別府市で開催します。大分といえば、日本一の温泉県として話題になっている場所で、豊富な温泉の恵みを活かした地熱発電の発電量でも日本一を誇り、栽培、養殖などの産業、食文化や美容と医療に至るまで幅広く活かされています。開催地の別府市は、源泉数、湧出量ともに日本最大級の別府温泉があるところで、昼間はセッションで研鑽、夜はIES(情報交換会)等で交流、そして疲れた頭と身体を温泉に浸かって癒していただくこともできる、大変充実した大会になっています。

iSUCは、毎年1,000名以上の方に参加いただいているIBMユーザーのためのカンファレンスです。参加者の業種も、職種も、年齢もさまざま。共通しているのは、立場は違っていても

IBM製品やサービスに共感し、ビジネスに活かしていることです。3日間で新しいことを学び、多くの方に会い、語らい、仲間を作り、お互いに成長する——そのような“交流の輪”ができるカンファレンスを目指して、実行委員15名は丸となって準備に取り組んでいます。

また九州地区での開催ということもあり、地元・九州研にご協力いただき、コラボレーション企画を予定しています。参加した皆様に九州の歴史・文化・食・温泉・自然にも触れていただきたいと思います。

たくさんの皆様方に、別府でお会いできることを楽しみにしています。

iSUCは、IBMのユーザー団体が主催する、 IBMシステム・ユーザーのための研鑽・交流会です

iSUC では、3日間で約100コマ以上の「参加型セミナー(セッション)」があり、IT活用技術をはじめ、貴重なIBMユーザーによる生の事例紹介、最新のIBM技術情報を入手できます。初日の夜に開催される「情報交換会(iES)」では、社外の情報システム部門のメンバーと交流していただけます。また「IT展示会(iSUCモール)」では、最新技術やソリューションについて、出展社から直にくわしい説明を聞くことができます。

基調講演講師は

これまで約5,000人の
減量栄養指導を行ってきた、
ダイエットカウンセラーのカリスマ



伊達 友美さん

「とくダネ!」、
「ホンマでっか!?TV」
など数々のTV番組で話題!

講演テーマ:

「IT業界は健康第一!

忙しくて不規則な生活でもできるメタボ対策

～夜中にラーメンを食べても太らない技術～



Hot! Step! Jump!
～飛び込もう! 熱き交流の輪へ～

大会テーマ

「Hot! Step! Jump!

**～飛び込もう! 熱き交流の輪へ～」と
その意味するもの**

別府という温泉の湧き出る熱い[Hot]土地で、さらに白熱した大会にしたい。そしてiSUCに参加したことで、個人の成長、さらには企業の飛躍[Step]に繋がる機会になってほしい。また大会方針として、iSUCならではの“交流”を追求したいと考えており、参加者の皆様にも受動的でなく能動的に“交流”に飛び込んでほしい[Jump]という実行委員の思いを、大会テーマに込めました。

大会ロゴは、「輪に飛び込む」「温泉と湯気」「上昇=成長」「交流の輪」「熱さ」などをイメージした絵柄をシンボルマークとしました。またサブテーマの「“交流”=人」を意識し、「Hot!」の文字に親しみが感じられる明るい表情を付けました。

もっと分かりやすく!

が、今年のセッションの特徴です

●セッションを技術系と経営課題系の2つのキーワードで

iSUCは「セッション」「iES」「iSUCモール」の3本柱で構成されます。その中でも大きな要素を占めるのがセッションです。今年は、参加者の皆様が聞きたい内容を簡単に見つけられるように、技術内容を表す「ITキーワード」と経営課題を表す「経営課題キーワード」という2つの切り口からセッションを表現します。

●今年「IBM i 誕生25年」

25周年を記念して、IBM i 関連の技術セッションや事例セッションを、より充実させるとともに、海外からキーパーソンをお招きしての特別セッションも開催する予定です。

●「iSUC白熱教室」「わいわいセッション」でもっと“交流”を

全国から集まるIT技術者の集いの場で、熱い“交流”ができるセッションを用意します。「iSUC白熱教室」は、テーマに沿って参加者と講師の方がオープンに意見交換できる参加型セッションです。また「わいわいセッション」は、その名の通り、少人数で“わいわい”言いながら情報や悩みを意見交換し、参加者自らが作り上げるセッションです。

